

# お知らせ

## ◎アマチュア無線技士国家試験

・第一級・第二級アマチュア無線技士

次の12月期の申請受付は、10月1日(土)から20日(木)まで(消印有効)(インターネットによる申請の受付も同じ)で、試験は第一級アマチュア無線技士が12月3日(土)、第二級アマチュア無線技士が12月4日(日)です。

試験科目は、法規と無線工学で、試験開始時刻は、法規が09:30から、無線工学が13:00からです。

試験地は、当地からですと、大阪市、広島市、松山市が近いでしょう。日本中どここの試験地で受けても構いません。詳しい受験場所は、受験票で通知されます。

・第三級・第四級アマチュア無線技士

8・9月期の試験を受験された方々の結果は、いかがだったでしょうか。吉報をお知らせ下さい。

近隣の試験地と試験月日	大阪	11月13日(日)
		12月4日(日)
	来年	1月15日(日)
広島		11月13日(日)
	来年	1月29日(日)
	松山	11月20日(日)

受付期間 試験月が11月のものは、既に先月に終わっています。  
12月のものは10月1日(土)~20日(木)、  
来年1月のものは11月1日(火)~21日(月)まで(消印有効)です。  
インターネットによる申請の受付期間は、曜日にかかわらず受付月の1日から20日までです。

試験科目および試験開始時刻

法規と無線工学で、開始時刻は受験票で通知されます。

試験地 受験申請書を提出した協会所在地の総合通信局所在地で、詳しい場所は、受験票で通知されます。

今年度の予定については、本誌6月号で試験案内をお知らせしていますので、今後のこと等詳しいことは、日本無線協会の「平成28年度第一級及び第二級アマチュア無線技士国家試験案内」と、「平成28年度第三級及び第四級アマチュア無線技士国家試験案内」をご参照ください。

(出典 日本無線協会資料 出稿 JA4KI)

## ◎JARL岡山県支部行事予定

12月11日(日) 10:00~15:00

岡山市北区伊島町三丁目1-1 岡山県生涯学習センター

2016 科学キッズフェスティバル in 京山祭 子どもから大人まで幅広い層を対象

岡山県支部からの出展予定内容

JARL公開運用(要 JARL会員証・従事者免許証)

組み立てキットを使った電子工作

モールズ関連

アマチュア無線の活動パネル展示 他

詳細はJARL岡山県支部ホームページで発表されます。

来年1月15日(日) 13:00~

倉敷市福田町古新田940 ライフパーク倉敷

恒例のラジオ製作教室(有料ですが、作ったラジオは持ち帰ることができます。)

詳細は、「広報くらしき」で発表されます。

(出稿 JA4KI)

# N E W S

## ◎ハムフェア2016開催

今年のハムフェア2016は、ハムフェア40周年を記念して、8月20日(土)～21日(日)に、東京ビッグサイトで盛大に開催されました。

その模様は、JARLのWebサイトなど見られますが、本誌にJA4KI吉岡さんが、恒例の「見学記」を書いておられますので、ご覧ください。

なお、来年は、開催期日がひと月遅くなって、9月2日(土)～3日(日)に、今年と同じく東京ビッグサイトで、開催されます。

9月に入れば、交通機関の混雑も少なくなり、気温も下がって、見学のためのお出かけには好条件になりますので、多くの皆さんの見学を期待します。

(出稿 JA4KI)

## ◎JARLが行なっているキャンペーンのご紹介

### ・お試し入会キャンペーン

18歳未満の方について、「入会金免除+会費1年分助成=0円」で、1年間お試し入会できるものです。小中高校生に最適ですので、その様な方がおられましたら、是非おすすめ下さい。

・現在会員の方が、継続会費を3年以上継続されると、会員期間が1ヵ月または2ヵ月プラスされて延長されるキャンペーンで、現在も引き続き実施中です。

継続会費を支払うときには、是非このお得なプランを利用しましょう。

なお以上二つのキャンペーンの詳しいことについては、JARLのWebサイトをご参照ください。

(出稿 JA4KI)

## ◎JARL創立25周年

アマチュア無線技士養成課程講習会の開催、アマチュア無線機器の技術基準適合証明、アマチュア無線設備の認定等を行っているJARL(=一般財団法人日本アマチュア無線振興協会)が、JARLが出捐(=しゅつえん。他人を助けるために自分の金を出すこと。)して、1991年8月に発足してから、25周年を迎えました。

JARLではそれを記念して、創立25周年の集いを、8月20日(土)に東京都江東区有明で開催し、総務省や業界関係者、アマチュア無線界代表者など300人が出席して盛大に行われました。

この集いの様子は、JARLのWebサイトや、CQ誌10月号などで見ることができます。

(出稿 JA4KI)

## ハムフェア40周年

### 第40回アマチュア無線フェスティバル／

### ハムフェア2016 見学記

J A 4 K I 吉岡 謙

今年のハムフェアは私の都合で、二日目の8月21日(日)に出発して上京し、見学することにして準備した。

当日は 03:30 に起床して早い朝食を摂り支度して、家を5時過ぎに出て、家内の J G 4 S F J に車で倉敷駅まで送ってもらい、倉敷発 05:30 の山陽線上りで岡山へ出て、岡山から山陽新幹線、新大阪で東海道新幹線に乗り継いで、10:10 東京駅に着いた。

東京駅から、ハムフェアの会場の東京ビッグサイトまでは、いつもの如く都バスを利用することになっているので、八重洲南口へ降りて、駅舎からバス停までの距離が一番近いところにあるコインロッカーへ荷物を預けに行ったが、残念ながら日曜日のためにすでに一杯になっており、地下にあるコインロッカーに、かろうじて荷物を預けることができた。

一階へ上がって、駅舎を出たところで、息子の J R 4 J A X と出会った。息子は、自分が勤めている会社の東京支社の情報機器の移転工事の監理に来ていたが、近づいている台風9号のために、安全をとって一日早く昨日から上京していて、昨日から仕事をしたために、今日は時間が少し空いたので、ハムフェアを見学することにしたらしく、2年続けての親子での見学になった。

すぐ前にあるバス停には、10:19 発のバスが入っていたが、22分頃にいっぱいの乗客を乗せて遅れて発車した。次発は 10:31 なので、バス停へ行って待ったが、これも遅れているようで、10:36 によりやく発車して、東京ビッグサイトには 11:15 に到着した。

すぐビッグサイト「西2」の会場のある建物に入ったが、今年も隣の「西1」では、服飾メーカーの WORLD の催しが行われていて、アトリウム東西の中央部分の南北方向には、催しへの参加者へ食事を提供するサービスのために、何台かのケータリング車を縦列に停めて仕切りにしてあった。

J A R L はアトリウムの西半分のみを使用していたが、二日目のありがたいところで、行列などは全くなく、発券カウンターへ直行できた。入場整理券をライフメンバーカードを呈示して 300 円引きの 1,200 円で購入したが、入場整理券の上には、ハムフェア40周年記念の缶バッジが載って窓口から出てきた。初日だと、この発券カウンターには、午後になっても長い行列が出来ているのだが、二日目のありがたさで、行列はなく、待つことなく入場整理券を求めることができた。券番は No.004534 だった。

後日の J A R L の発表では、初日の入場者数は約 25,000 名で、二日目は初日の半分以下の、約 12,000 名だったらしい。

ゲートを入れてすぐの所に、白布のかかった長机が置いてあったので、その上で、整理券へ、コールサインと氏名をテープライターで打ち出したものを貼った。

インフォメーションでガイドブックを貰い、3ページ目の記念スタンプ欄に記念スタンプを押していると、カウンターにいる浴衣姿の女性が、カウンターに並べてある沢山の缶バッジを指さしながら、「記念の缶バッジはありますか」という。「貰ってるよ」と、先ほど発券カウンターで貰ったバッジを見せ

ると、「奥様にもどうぞ」というので、遠慮せずに貰った。

インフォメーションの横にある運営センターへ行き、「会長さんは」、と尋ねたら、「来賓室ではないか」との返事だったので、来賓室に J G 1 K T C 高尾会長を訪ねて、先月の中国地方ハムの集いへの出席の礼を述べた。来賓室には中国地方本部長・理事の J A 4 D L F さんもおられたので、挨拶を交わした。

ガイドブックによれば、ハムフェア 2016 は、5つのブロックに分けられている。

A ブロックは J A R L コーナーで、A-01 から A-15 まで 15 のコーナーがある(昨年と同じ)。A-10 のイベントコーナーでは、二日間にわたって、11時から16時頃まで、プログラムに従って、9のイベントが行われる。

B ブロックはビジネスコーナーで、B-01 から B-25 まで 25 のコーナーがある(昨年より1多い)。

C ブロックはクラブ(一般展示)コーナーで、C-001 から C-118 まで 118 のコーナーがある(昨年より3多い)。

J ブロックはクラブ(純粋展示・発表)コーナーで、J-01 から J-81 まで 81 のコーナーがある(昨年より2多い)。

D ブロックは J A I A コーナーで、D-01 から D-05 まで、J A I A の 10 社の中から 5 社が出展している(昨年と同じ)。

他に、フードコーナーとして、飲食物を販売する会社が 2 社(昨年と同じ)と、宅配便を扱ってくれる運送業者が 1 社(昨年と同じ)入っているはずである。

日本無線協会の、当日受付即日結果発表の第三級・第四級アマチュア無線技士臨時国家試験は、ハムフェア初日の 8 月 20 日(土)に、ハムフェア会場の近くにある東京ファッションタウンビルで実施された。

持っているバッグの中身を早く減らして軽くしたいので、最初に我が母校の明治大学アマチュア無線部の「明治大学高周波」のブースへ行った。ブースへは、毎年このブースへ詰めてくれている私とは親子ほど年が違う J L 1 L N C 納村さんがいたので、持参したわずかの土産を「ご苦労さん」と手渡して、写真を撮ってもらった。

ビジネスコーナーの Y A E S U のブースへ、J E 4 H B P / J A 1 A G S の山本さんを訪ねて行ったが、丁度ブースの前で、多くの見学者を前にして、プレゼンテーションをしておられたので、後回しにして、同じコーナーの中に出展しているグラスファイバー工研のブースへ行った。私の HF 帯用の 5 バンドのマルチダブレットが、7月に突然天から降ってきた。原因は、アンテナエレメントの中心にある給電部分に、デベグラスワイヤーを取り付け、それを電柱の上に付けた滑車で引き上げていたものが、デベグラスワイヤーを取り付けてあるところで切れたのだった。使っているデベグラスワイヤーの切れ端を持って行っていたので、会社の人に診てもらって解析してもらった結果、デベグラスワイヤーを給電部分に取り付ける際、デベグラスワイヤーを小さい角度で折り曲げた所へ大きな力が加わっていたため、12年経過して経年劣化で切れたということが分かったので、取り付け方を改良することにして、必要な材料を購入した。

もうそろそろ Y A E S U の山本さんのプレゼンテーションは終わったかと、ブースへ行って、見学者との会話が途切れるのを待って、先月の中国地方ハムの集いへの出展や、その際にやっていただいたプレゼンテーションの礼を述べ

た。8月19日に入信したYAESU Information に出ていた、YAESU 60周年記念グッズであろうと思われるキャップをいただいた。

私は、朝食を03:30に摂っていたので、かなり空腹になった。12時になると会場のすぐ前にあるレストランは、かなり混んで長い行列に並ばねばならないが、恐る恐る行ってみたら、これまた二日目のありがたいところで、待ち行列はなく、すんなりと入れて、待ち時間なしに食事を摂ることができた。

会場へ戻って、持ってきたV・UHF FMトランシーバーのスイッチを入れて一番空いていると思われる1200MHz帯を聴いてみたら、ハムフェアでは、ここ当分使われていなかった「8J1HAM」というコールサインが聞こえて、12:29にQSOした。続いて12:35には、145MHz帯でQSOすることができた。430MHz帯は、どうもそれらしい電波が聞こえてこないのので、JARLコーナーの8J1HAMのブースへ行ってみたら、Rigはあるがオペレータが着席していなかったのので、このバンドは後回しにして、すぐ隣にあるビジネスコーナーの電子申請のブースへ行ったら、A3くらいある大きな紙が2枚止めてあるものを渡されて、クイズに答えて、アンケートに答えたら、毎年恒例の、A5の大きさの紙に、電子申請のマスコットガールが印刷されていて、自局のコールサインと局免有効期限が3ピースプリントされたステッカーと、電子申請利用の手引きの2016年6月版を、マスコットガールがプリントされたクリアファイルに入れたものをくれた。

昨年このブースで、関東総通の吉岡なる人に、私が2年前にJA1BRPの再免許申請をした際、電波利用料の前納について「はい」と答えたにもかかわらず毎年払いにされたことについて、その理由について返事を求めていたが、未だに返事がなく、既に3年目に入っている。もし今日来ていれば返事を聞きたいと思ったが、来ていなかった。念のために尋ねたら、今日ブースへ居る殆どの方は、関東総合通信局の人ではなかったのがっかりした。

430MHz帯をワッチしたら8J1HAMが聞こえていたので、QSOしてV・UHF FM3バンドでJA4KI/1とJA1BRP/1でのQSOを終わった。

これで一応の予定の行動は終わったようなので、見残している各コーナーの各ブースを見ながら、つながっているブースを、ブースの番号の若い順番からなるように、パネル単位で写真に撮ることにした。

改めてビジネスコーナーから見て歩いた。

次にクラブコーナーへ行き、NPO法人ラジオ少年のブースでは、代表者のJARL副会長JA8ATGさんに、持参した使用済み切手などをお渡しした。

明治大学高周波のブースでは、私が氏名とコールサインを、来訪者ノートに記入していないことに気付き記入した。

JAI Aコーナーでは、最近アンテナ自体がエレメント長を自動的に最良長に調整してくれるアンテナがあるとのことで、それについて尋ねたりした。

JARLコーナーへ行ったら、美女にJARLのクリアファイルを渡された。そのファイルの中には、「青少年お試し入会キャンペーン」のリーフレット、「モルス符号を世界遺産に」の下敷き等が入っていて、「入会希望の方がいらっしゃったらどうぞよろしく」と依頼された。

イベントコーナーでは、丁度表彰式が行われており、受賞者に賞状が渡される度に拍手が起こっていた。

すぐ近くにあるJARDのブースを覗いたら、何か配り物をしていて、クイズに答えろというので、クイズはどこかと探したら、係の人がB4くらいのテ

ロップに、JARDが9月1日から開始するスプリアス確認保証のことが、問題として書いてあるものを持って立っており、すぐ分かったので答えたら、オレンジ色の布製の「たためるマチ付きトートバッグ」をくれた。以前はこのブースで、配布時間を決めて帆布製のトートバッグ配っていて、わが家にも何枚かあるが、便利に使っており大いに役立っている。

最後にJARLの多くのブースを見た。工作教室では、もし残っているキットがあれば、孫の土産に買ってやろうと覗いたが、既に全部無くなっていた。

それぞれのブースでは、毎年のごとく、展示されているジャンクを手にとって、いろいろなことを尋ねたり値引き交渉をしたり、ブースのメンバーが作って販売しているものを買って求めたり、ただ展示されているものを見たり、ブースのメンバーとアイボールQSOを楽しんだり、ブースが行なっている抽選会に参加したり等々という具合に、入場者はそれぞれが多様な楽しみ方を満喫していたが、人気のブースでも二日目の為、見学者が少なく、ゆっくりと見学することができて、前の人の肩越しにのぞき込む様なことは殆どなかった。

今年も会場内で、多くの方々とお目にかかってお話しすることができたが、残念なことに、今年も倉敷クラブのメンバーにはお目にかかれなかった。

15時になったので、会場を出ることにした。初日に見学してその日に帰るという今までよくやっていたスケジュールの場合は、13時頃には会場を出て帰路についていたので、それからすると、今日は1時間くらい多く見学できたことになりFBだった。

朝とは逆のルートで、東京ビッグサイト 15:11 発の定期バスに乗ろうとバス停に停車しているバスに近づいたら、かなり混んでいて、乗り残しの人を置いて発車した。次のバスは15:25 発なので、行列に並んでいたら、都バスの案内係の人が、「臨時の急行を出す」とのことで、間もなくその急行に乗れて座ることができた。終点の東京駅八重洲南口までの間乗降はなく、16時頃に到着した。

息子には、私の荷物を持ち帰ってくれるように頼んで別かれ、息子は銀座にある支社での仕事に、徒歩で戻って行った。

夕方からは、雨になるかも知れないという予報だったので、雨にならないうちにと、なにがしかの買い物をして、今夜の宿の我々の共済のホテルへ入った。

翌日少し早めに起床したら、台風9号の影響で、空は雲に覆われて、横殴りに近い雨が降っており、ホテルの8階の部屋の窓ガラスは雨に濡れていた。

帰りの新幹線は東京発 09:33 だが、台風は遅くなるほど近づいて来て、風雨が強くなるだろうと思い、早目にチェックアウトした。傘は差していたが、横からの風雨のためにびしょ濡れになるので、歩く距離が一番短く、濡れる時間が少ないと思われる東京メトロ丸ノ内線のお茶の水駅から、JR東京駅へ出た。

東海道新幹線は遅れることなく発車したが、途中神奈川県に入ってから、窓ガラスを流れる雨水のために、全く外が見えない豪雨の中を走った。静岡県に入ってから、次第に小降りになり、静岡駅の手前では、太陽も少し出て、ホッとした。

新大阪で山陽新幹線に乗り継いで、岡山へは遅れなしで定刻どおり到着した。倉敷駅からは、JG4SFJに迎えに来てもらった車で帰宅した。

来年は、例年よりひと月遅い9月2日(土)と3日(日)に、今年と同じ東京ビッグサイトの、西3・4展示ホールで開催される予定になっているので、是非見学したいと思っている。